



# 特集 地域ネットワーク型のリサーチパーク I-waRP始動へ。

内閣府の地域中核大学イノベーション創出環境強化事業（採択期間:令和6年～7年度）により整備されたI-waRPは、岩手ならではのスタイルで立ち上がった全国初の地域ネットワーク型リサーチパークです。

産学官が連携し、研究開発や企業支援、人材育成を通じて地域産業の高度化を支える拠点「いわてイノベーション推進リサーチパーク」が、いよいよ動き出します。今回は、同パークの設立目的や役割、商工会議所会員事業者がどのように活用できるのか、岩手大学および岩手県工業クラブへの取材を通じて紹介します。

## リサーチパーク設立の目的

令和7年12月に設置された「いわてイノベーション推進リサーチパーク」(以下/I-waRP・アイ・ワック)は、地域イノベーション・エコシステムの実現をめざし、岩手大学、岩手県、盛岡市、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センターが一体となって立ち上げた研究開発拠点です。その目的について、I-waRPの代表である岩手大学理事・副学長の水野雅裕さんはこう話します。

「課題、資金繰りや収益力低下も、地域企業にとって複合的な課題となっています。岩手大学に求められる地域貢献は、地域の公的機関と連携してその課題を解決していくこと。I-waRP設置の大きな目的なのです。」

その原動力として、平成4年に立ち上がった「INS岩手ネットワークシステム」の存在が欠かせなかったと水野さんは続けます。

「あらゆる相談を持ちかけた時、親身になって聞いてくれる『人』が岩



I-waRPでは、岩手大学を初め、各施設が保有する300台以上の共同利用機器の利用が可能です。

実の体制です。

「大学と企業、行政機関が相互に補完し合いながら、シーズとシーズのマッチングをめざしています」と水野さん。

I-waRPの特徴は、地域にある研究開発リソース(資源)の一元化によって、小規模企業の方々が利用しやすくなるという点にもあります。春から設備一覧をホームページから検索して予約できるシステムを公開予定です。岩手大学内で進むスマート畜産プロジェクトや、岩手大学発の分子接合技術(i-IB法<sup>®</sup>)が、I-waRPを通していかなる展開を見せていくかも注目です。

## 次世代ものづくり人材育成への期待

ものづくり現場に多大な可能性を投げかけるI-waRP。岩手県工業クラブ会長の小山田浩之さんが寄せる思いを伺いました。

「地元のものづくり産業全般、人材確保が大きな課題になっていくのが本音です。I-waRPは、岩手大学を軸に産学連携した地元企業をワンチームでサポートしていただける点が画期的。その中で、岩手大学の研究成果やシーズを活用して、新製品、新



「企業側にとって、多彩な設備を費用負担なく利用できるメリットは大きい」と小山田さん。

サービス、新技術の共同開発が主活動になると思います。大学側と企業との交流を通して、学生や若手研究者は、企業経営や生産現場に関わったものづくりを実践することができる。その中で、さらに新たな研究テーマを見いだすこともできるのではと期待しています。

多種多様な企業が集い、コミュニケーションをとりやすい環境をつくることで固定観念にとらわれないアイデアが生まれていきます。外部から知り得ない研究開発型企業が、岩手県内に多数存在することを学生たちも知ってもらいたいのも狙いの一つ。

「I-waRPによって、長期にわたって人と企業が集まり、お互いに切磋琢磨していく関係から、新しい製品や研究が進んだら素晴らしい。地域にある研究開発のリソースを有効に活用してほしい」と、小山田さんは同システムを活用した事業者の新分野挑戦に期待を寄せます。

手には居る。20年以上積み重ねた同ネットワークの人脈があつてこそ、今回のリサーチパークが実現しました。」

## コーディネーターによるマッチング

I-waRPの大きな特徴は、企業から寄せられた相談に対し、機関の垣根を超えてワンストップで対応すること。相談内容に応じて、コーディネーターチームを結成し、段階に応じた面談を行います。技術課題の解決や製品の開発支援、専門家との連携や相談、設備やスペースの活用、資金調達、地域展開や拠点整備など、幅広いニーズに対応します。支援施設やスペース、大学等の先端研究設備や先進機器、支援スタッフのサービス提供も可能。加えて、ニーズに合わせた行政サービス支援、大学の研究シーズも提供していく充



「大学内で研究者の活動支援をする専任スタッフURAが、相談内容にあった研究者を探しマッチング機会をつくっていきます」と水野さん。

「地元のものづくり産業全般、人材確保が大きな課題になつていくのが本音です。I-waRPは、岩手大学を軸に産学連携した地元企業をワンチームでサポートしていただける点が画期的。その中で、岩手大学の研究成果やシーズを活用して、新製品、新

「地元のものづくり産業全般、人材確保が大きな課題になつていくのが本音です。I-waRPは、岩手大学を軸に産学連携した地元企業をワンチームでサポートしていただける点が画期的。その中で、岩手大学の研究成果やシーズを活用して、新製品、新

こんな企業におすすめ!

- 新製品・新技術を開発したい
- 事業拡大のためラボ、工場を設置したい
- 大学や研究機関と連携したい
- 地域に根ざした事業展開を目指している
- 試作・実証の場を探している

## I-waRPでは、岩手大学、岩手県工業技術センターにある様々な共同利用機器を活用することができます。



「核磁気共鳴装置(NMR)」：分子構造や化学組成を高精度に解析。材料・化学試料の詳細な構造評価が可能。



「CNC複合旋盤」：旋削とフライス加工を一台で実現。高精度なシャフト部品や複合形状の加工に対応可能。



「5軸制御マシニングセンタ」：複雑な三次元形状を1台で高精度加工。多面加工を自動で行い、試作から高度部品まで対応。



「透過型電子顕微鏡(TEM)」：ナノレベルの内部構造を観察できる高分解能顕微鏡。材料の微細構造解析に活用。

### 共同利用機器・施設・スペース・支援事業の検索機能

I-waRPのホームページでは、地域の企業や団体の皆様が、参画機関の設備・施設・サービスをより便利に活用できるよう、共同利用機器、施設、スペース、支援事業を検索できるシステムを提供しています。

これまで、「どこに何があるのかわからない」「問い合わせ先が機関ごとに異なり手間がかかる」といった課題がありましたが、本システムにより、目的の設備・施設にスムーズにアクセスできるようになりました。地域の技術資源を一元的に探せる情報ナビゲーションツールとして、より快適な利用をサポートします。

**SYSTEM**

**共同利用機器・施設・スペース・支援事業をスピーディーに検索！**

I-waRP (アイワープ) が提供する共同利用機器、施設、スペース、支援事業を検索するシステムです。企業や団体の皆様は、このシステムを通じて、必要な設備や施設、スペース、支援事業を簡単に検索することができます。

検索ボタン

I-waRPホームページから、いつでも、どこでも、切れ目のない支援へアクセス！

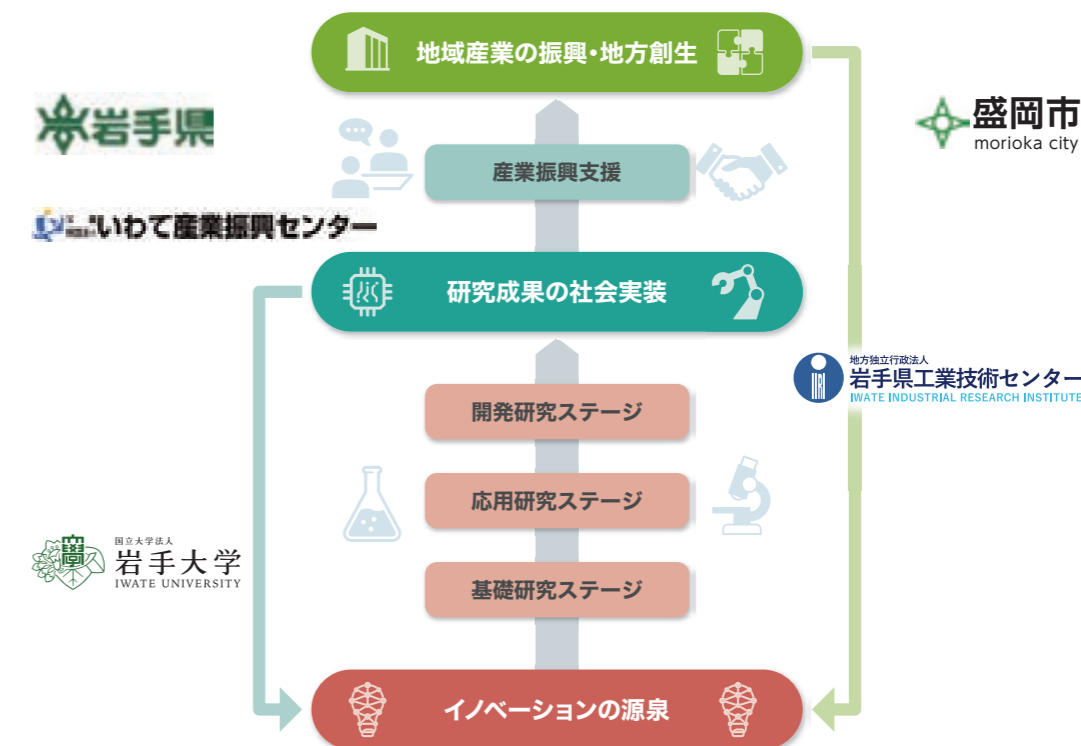


I-waRPホームページはこちらから

## いわてイノベーション推進リサーチパークの事業について

### 研究から社会実装まで。切れ目のない支援で、岩手発のイノベーションを加速する。

「いわてイノベーション推進リサーチパーク」は、岩手大学を中心に、岩手県、盛岡市、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センターが集い、「知、人材、情報、資金」といったイノベーションリソースが集積するエリアネットワーク型の拠点です。地域全体の地と資源を結集し、基礎研究から社会実装、新事業創出までを切れ目なく強力にサポート。岩手から世界へ、イノベーションで未来を拓きます。



### 岩手コーディネート・ネットワークとは

岩手大学、岩手県、盛岡市、いわて産業振興センター、岩手県工業技術センターといった多様な機関のプロフェッショナル支援人材が集結した専門チームです。それぞれが一つのエリアネットワークの中で協力し、研究のひらめきから社会実装、そして地域産業の活性化まで、ビジネスや研究の全プロセスを切れ目なくサポートします。

### 岩手コーディネート・ネットワークへのご相談は、「ワンストップ総合窓口」からが便利です。

I-waRPホームページのお問い合わせページからワンストップ総合窓口のフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。ワンストップ窓口にお寄せいただいたお問い合わせは、I-waRPの支援人材の元に届きます。また、従来通り個別の機関にご相談いただいた場合も、情報は岩手コーディネート・ネットワークに共有されます。

